

適合証明(令§60)申請事項

1 申請書	<p>(1) 住所・氏名 ・住民票上のものとする。 ・申請者が法人の場合は、登記簿上のものとする。(押印省略可)</p> <p>(2) 所在・番地 ・土地登記簿により全筆記入すること。 ・一筆の土地の一部である場合は、「123番 - 45の内」と表示すること。</p> <p>(3) 区域区分 ・都市計画区域(市街化区域・市街化調整区域等)、用途区域を明示すること。</p> <p>(4) 用途地域 ・「指定なし」等記入すること。</p> <p>(5) 開発行為の有無 ・「開発行為許可」を要する形質の変更に該当するかどうか、 また都市計画法第29条各号に該当するかどうか確認してから明示すること。</p> <p>(6) 面積 ・実測面積(小数点第2位まで明示)すること。 ・道路後退線がある場合は、後退線面積も併せて明示すること。</p> <p>(7) 建築物等の用途 ・建物用途(配置図にも同じ用途)を明示すること。</p> <p>(8) 該当条項(号) ・該当条項(号)・内容を明示すること。</p>	8 配置図 ・方位・縮尺(250分の1以上)・作成者名及び押印。 ・申請敷地の範囲を色枠で囲み、境界名を明示すること。(道・水路境界線は両側明示。) (境界名:道路境界線、水路境界線、隣地境界線、内表示境界線等明示すること。) また、道路後退線がある場合はその旨も明示すること。 ・接続道路・水路の種類及び幅員明示。(2項道路・認定外道路等) (なお、位置指定道路の場合は、指定年月日及び指定番号も明示すること。) ・建築物用途・工作物(擁壁等)の明示。(申請建築物・新設工作物はその旨明示。) ・申請建物用途・敷地面積・建築面積・延床面積・建ぺい率及び容積率明示。 ・道路・河川占用の要する場合は、許可年月日及び受付番号も明示すること。 ・地盤高(申請地及び隣地)明示。(基準点を設けた場合は位置明示。) ・切土・盛土の有無明示。有りの場合(切土=黄色・盛土=赤色)着色。 また、申請敷地面積が300㎡を超える場合は切土・盛土求積図を添付。 ・縦横断面線(申請建物上で切ること) また、切土・盛土がある場合は、原則として最大部分を2方向切ること。																													
2 理由書	・具体的に記載(建築について合理的なもの)申請書氏名・住所及び押印	9 縦横断面図 ・方位・縮尺(250分の1以上)・作成者名及び押印。 ・境界名明示。(道・水路境界線は両側明示。) また、道路後退線がある場合はその旨も明示すること。 ・接続道路・水路の種類及び幅員明示。 (なお、位置指定道路の場合は、指定年月日及び指定番号も明示すること。) ・建築物用途・工作物(擁壁等)の明示。(申請建築物・新設工作物はその旨明示。) ・地盤高(申請地及び隣地)明示。 ・切土・盛土がある場合は、色塗りし、最大値を記入。																													
3 公的証明	・「農業を営むものの証明・建築確認通知・既存宅地確認通知等」 申請内容によって建築用途に必要な公的証明書を添付すること。	10 求積図 ・方位・縮尺(250分の1以上)・作成者名及び押印。 ・原則として三斜求積により倍面積で計算し、最終値は小数点第2位までとする。 ・道路後退線がある場合は、申請敷地と区分して求積すること。 ・周囲の辺長明示。																													
4 土地の登記事項証明書	・受付日3ヶ月以内の法務局発行の証明書を添付すること。(全部事項証明書に限る)	11 平面・立面図 (1) 平面図 ・方位・縮尺(250分の1以上)・作成者名及び押印。 (2) 立面図 ・縮尺(250分の1以上)・作成者名及び押印。 ・2方向以上明示すること。(建替え等許可条件により高さ明示。)																													
5 位置図	・方位・縮尺(2,500分の1以上)の都市計画図(白図)・作成者名及び押印。 ・敷地の位置・形状(申請地を色枠で明示) ・上記の縮尺の都市計画図がない場合は、これに代る案内図を添付すること。	12 写真 ・2方向以上(地盤の状況・接道・申請地境界等分かるもの。) ・申請敷地を色枠(赤色)で囲むこと。 ・カラー写真(デジタル写真可・ポラロイド写真不可。)																													
6 公図写	・法務局(登記所)保管のもの of 写し ・申請地の範囲を色枠で囲むこと。(最低申請地隣接地迄転写) ・道路敷を赤色、水路敷を青色、「位置指定道路」は黄色で着色すること。 ・字界、小字、地番明示。 ・謄写場所名・謄写年月日明示。 ・方位・縮尺・転写者名及び押印 ・市町村受付日3ヶ月以内に謄写したものを添付すること。	13 新旧対照表 <table border="1" data-bbox="1301 1214 2107 1342"> <thead> <tr> <th></th> <th>用途</th> <th>構造</th> <th>敷地面積</th> <th>建築面積</th> <th>延床面積</th> <th>建ぺい率</th> <th>容積率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新</td> <td></td> <td>造 階</td> <td rowspan="2">㎡</td> <td>㎡</td> <td>㎡</td> <td rowspan="2">%</td> <td rowspan="2">%</td> </tr> <tr> <td>旧</td> <td></td> <td>造 階</td> <td>㎡</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>倍率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>倍</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		用途	構造	敷地面積	建築面積	延床面積	建ぺい率	容積率	新		造 階	㎡	㎡	㎡	%	%	旧		造 階	㎡	㎡	倍率					倍		
	用途	構造	敷地面積	建築面積	延床面積	建ぺい率	容積率																								
新		造 階	㎡	㎡	㎡	%	%																								
旧		造 階		㎡	㎡																										
倍率					倍																										
7 敷地現況図	<p>・方位・縮尺(250分の1以上)・作成者名及び押印。 ・申請敷地の範囲を色枠で囲み、境界名を明示すること。(道・水路境界線は両側明示。) (境界名:道路境界線、水路境界線、隣地境界線、内表示境界線等明示すること。) ・接続道路・水路の種類及び幅員明示。(2項道路・認定外道路等) (なお、位置指定道路の場合は、指定年月日及び指定番号も明示すること。) ・既存建築物・工作物(擁壁等)の明示。 ・地盤高(申請地及び隣地)明示。(基準点を設けた場合は位置明示。) ・写真撮影位置・方向明示。</p>	14 その他 ・副本の申請書には、捺印・業者印の押印なし。 ・その他、申請内容により添付書類を求める場合があります。																													

理由書の氏名(法人にあっては、その代表者の氏名)を自署する場合は、押印は不要であること。